流山市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	流山市国民健康保険条例 修正案
1	未記入	未記入	<p>長々と他自治体との保険料比較をして新保険料の正当性を訴えているようですが、保険料額のみでの比較に何の意味がありますか？</p> <p>引き上げ率があまりにも大きいと思いますが、如何？</p> <p>他自治体との比較だけ言えば、市税金額だけ見ても地方税が高過ぎるところへ此れですか？</p> <p>検討項目の幅を広げて精査御願ひ申し上げます。</p> <p>市長はこの説明資料内容に責任を取る事で了解されておられるとの理解で宜しいですね？</p>	<p>今回の保険料の見直しは平成28年度以来のこととなりますので、県内他市及び近隣市比較において、現状の流山市の保険料がどの位置にあるかをご理解いただくことが、意見を頂く上でも参考になるものと考えお示ししています。</p> <p>令和7年度からの新料率案についてですが、本来であれば、令和元年度に発生した赤字額3億円を令和5年度までに削減する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症などの社会経済情勢等の影響を踏まえ、保険料の改定を見送ってきた経緯があります。</p> <p>その間、国保特別会計の収支不足（赤字）は年々増加し、本市保険料率と県が示す市町村標準保険料率に乖離が生じている状況です。</p> <p>さらに、千葉県は令和12年度までの赤字繰入解消、令和12年度以降に県内保険料の完全統一化を目指しています。</p> <p>そのような状況の中、令和8年度には赤字額が約9.6億円になることが見込まれており、本市としては段階的に赤字を解消しなくてはならないと考えています。</p> <p>現状の被保険者数及び所得に新料率案を適用した結果、約3.3億円の増収が見込まれ、赤字の一部を解消するため必要な料率水準であると考えています。</p> <p>ただし、新料率案は、所得割からなる応能分の比率を多くし、引き続き低所得者層へ配慮した設定としています。</p> <p>今回の保険料見直しに係る検討に当たっては、県内他市等との比較の他、被保険者数や保険料収入、事業費納付金や赤字繰入などの関連数値の推移、応能・応益割合の見直しや、所得段階別の負担増加額の検証、国・県の動向など様々な視点から検討作業を行ったところです。</p> <p>また、これらの検討項目、そして新料率案については、市の諮問機関である国民健康保険運営協議会において、慎重な審議を重ねていただき、令和7年度から国民健康保険料の引き上げを基本として見直すことは、やむを得ないとの答申が市長に提出されました。</p> <p>なお、当該見直し案に係るパブリックコメント手続きは、市長も含めた庁内での意思決定過程を経て、実施しております。</p>	無	無